

温室効果ガス観測技術衛星等による排出量検証に向けた技術高度化事業



【令和4年度予算額 2,500百万円 (2,940百万円)】
【令和3年度補正予算額 3,026百万円】

衛星等による人為起源温室効果ガス排出源の特定および排出量推計精度の向上を目指す

1. 事業目的

- ① 世界の各国がGOSATシリーズの観測データを用いて温室効果ガス (GHG) 排出量の比較評価を実施できるよう、継続的な運用を通じて、地球全体 (全球) におけるGHGの観測体制の維持を行う
- ② パリ協定に基づき、2023年に予定されているグローバル・ストックテイクへの貢献を目指し、各国による排出インベントリの報告とは違う手法で、客観性の高い独立した排出量検証手法を確立する

2. 事業内容

1. GOSAT-2衛星観測システムの運用

- 2018年に打ち上げたGOSAT-2の運用 (衛星の軌道制御、健全性の確認、捕捉・追尾、データの受信・処理、観測データの品質管理等) を継続実施する

2. GHG濃度算出と人為起源排出量の推計と検証

- GOSATシリーズ等の観測データを用いて、各国が公表しているGHG排出インベントリとの比較・評価を実施し、政策展開に生かしていく。そのためにR4年度は下記の事項を実施していく。

- (1) GHG濃度算出アルゴリズムの高度化
- (2) 高次プロダクトの検証
- (3) 人為起源GHG排出量推計と検証

3. GOSAT-GW衛星観測システムの製造

- 宇宙基本計画 (令和2年6月閣議決定) 及び工程表に基づき、GOSAT-GW衛星 (3号機) の2023年度打上げに向け観測システムの開発を着実に実施する。

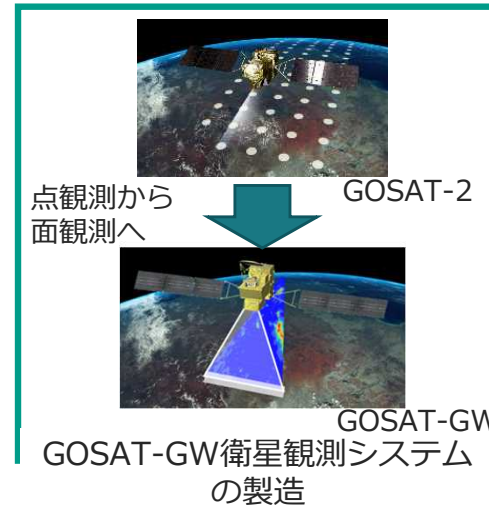
3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
民間事業者・団体
- 実施期間 平成26年度～

4. 事業イメージ



GOSAT-2の運用



点観測から面観測へ

GOSAT-GW衛星観測システムの製造



Image courtesy of JAXA and NIES

お問合せ先： 環境省地球環境局総務課脱炭素化イノベーション研究調査室 電話：03-5521-8247